

わたしたち、社会福祉法人玉柏会は、地域社会の中で「ともに生きる」ことによる「しあわせ」を目指していきます。



玉 柏 会



令和元年10月26日 撮影

令和元年 みすず 一泊旅行

～ 2日目: 長野県 諏訪大社にて ～

特集： 摂食嚥下の取り組みについて

～障害に関わらずいつまでも楽しく美味しく食事ができるように～

目 次

玉柏会 理事長あいさつ	2
『発達障害の特性と支援』/職員研修報告 4・5	3
玉柏会「納涼大会」/みすず「自慢の利用者」	4
特集：摂食・嚥下障害の取り組みについて	5
玉柏会事業所だより「央原荘」	6
玉柏会事業所だより「みすず事業所」・「かしわ寮」	7
かしわ寮・旅行日記/1月までの予定	8



社会福祉法人 玉柏会

本部 央原荘 みすず
かりん かしわ寮 すずらん

〒424-0301

静岡県静岡市清水区央原362番地

☎054-394-0311 FAX 054-394-0312



「ニヤリホット と ヒヤリハット」

大型で猛烈な台風19号が、日本各地に大きな被害を与えました。大型の台風の発生頻度は年々高まっています。昨今は異常気象という言葉自体が異常でなく日常的になった感じがします。冬の暴風雪や豪雪、夏の超大型台風による大雨・大風・高潮・雷・竜巻・雹、通年発生する局地的集中豪雨等々。地球温暖化が原因の一つでしょう。スエーデンの16才の環境保護活動家グレタさんの国連での演説や日頃の活動を通じて改めて温暖化防止について触発された人は沢山いたと思います。私もその中の一人ですが、マイバッグやマイ箸の携行、冷暖房温度の調節、エコ運転の励行、3Rの徹底などすぐにでも出来ることを始めました。



社会福祉法人至相会
理事長

海野和雄

以前この会報で笑う門には福来るについて書きました。今回は笑いの中でも大笑いというよりニヤリとした笑いについてお話しします。穴原荘ではこの8月からニヤリホット掲示版を設置しご利用者と職員やご利用者同士のほのぼのとした関係や好ましい支援事例を紹介しています。虐待防止委員会の会議で発案され第1回目の事例発表では「良いね」という事例には読んだ人がシールを張っていくという仕組みになっています。思わずニヤリとかニンマリした笑いがわいてくる事例ばかりで、38事例全部読み終わると心が洗われる思いになります。

ニヤリホットとはヒヤリハットの反対極にある言葉で、ヒヤリハットのようにマイナス思考的な姿勢でなく、同じ事例でもプラス思考的に捉えて対応していくものだと言われています。京都の介護施設での事です。「スタッフが目を離れた間に、車いすから立ち上がろうとした入居者がいた場合、通常はヒヤリハットとして見守りが強化されるでしょう。しかしニヤリホットの観点では「歩こうと頑張っている」と記録します。この記録がケアマネージャーの目に止まり、この入居者のケアプランは自分で立つこと、歩くことを目指すものへと変更になるそうです」。勿論ヒヤリハット活動は、安全強化には有効な手法であることには変わりはありません。

人間、自分のことはさておき、他人の欠点はすぐ見つけるのに他人の美点にはなかなか気づきません。良い所、美点には意識していないと見つけにくいのですが、見つけた時には、こちらの気持ちも何かほのぼのとしたものになります。世の中、ギスギスとしたゆとりのない風潮や、他人への誹謗中傷や弱い者いじめが蔓延っています。心に潤いが無いのでしょうか。それが言葉の暴力のヘイトスピーチや虐待につながっていきます。自分のことは棚に上げてという言葉がありますが、謙虚な気持ちで自分を見直してみる、そして素直な気持ちで他人の言動を見つめ直してみると、良い所が見えてくるものだと思います。ご利用者や職員全員が力を合わせてニヤリホットの事例がもっともつとあふれる風土にしていきたいと思います。

以上

静岡市強度行動障害者支援サポート事業

発達障害の特性と支援

講師：水野敦之 氏

- ・事例検証（発表） ・発達障害の特性と支援（講演）
- ・フレームワークを活用したアセスメントとプランニング（講演）

今回、静岡市・静岡市障害者協会・静岡市厚生事業協会・玉柏会の共催で、静岡市強度行動障害者支援サポート事業事例検証会を開催しました。

入所サポート事業を受けている「わらしな学園」と「宍原荘」、通所サポート事業から、「まあぶる」が実践報告をしております。

その後、水野敦之先生による講演『フレームワークを活用したアセスメントとプランニング』が行われ、アセスメントから支援が始まることや、支援に今ある理論を使うことなど説明して下さい、来場者も、頷かれたり、笑ったり、メモをとったり聴講し、自閉スペクトラム症を持つ方へ、日々、どうしたらわかりやすく、見通しがたち、より良い支援ができるかを考えている様子でした。残念ながら台風の影響で、日程が変更となり、楽しみにされていた2日目の演習は中止となりました。

今後もさらに良い支援ができる様、進めて参ります。

（支援課長：齋藤雅志）

令和元年度 静岡市強度行動障害者支援サポート事業 事例検証会
発達障害の特性と支援
支援者の皆様、必見です！
支援にあたって押さえておくべき自閉症やADHDの特性から具体的な事例、支援手法まで支援のヒントが盛り込まれています！現場ですぐに役立つ「3つのアセスメント」と「支援計画」のポイントもお伝えします！
入場無料
10/11(金) 講演会
10:00～16:00 定員 200人
※直前に30分程度「静岡市強度行動障害者支援サポート事業」の事例紹介を行います。
10/12(土) ワークショップ
10:00～16:00 定員 42人
対象 障害福祉関係事業所・学校・こども園等従事者など発達障害の支援に関わる方
静岡市立南部図書館 2階
(静岡市駿河区南八幡町3-1)
〒420-8602 静岡市駿河区追手町5-1
TEL 054-221-1198 FAX 054-221-1494
メールアドレス shougai@fukushi@city.shizuoka.lg.jp

令和元年度 職員研修報告 4

「知的障害援助専門員講座を終えて」

生活支援員 稲葉洋希

知的障害援助専門員の研修は、知的障害に特化した内容で、障害者福祉の歴史や援助技術、自閉症や医学、心理、生活支援についてなど様々な知識を得ることが出来ました。

最も印象に残っているのが、意思決定支援における「ベストインタレスト」という考え方です。障害の軽重は関係なく、本人が自分を抜きにして何かを決める事は無く、本人が自分の事を決めるという意識を持って、共同意思決定の場に参画出来るような環境を整える事が求められます。この支援では異なる関わりをしてしまう事はマイナスとなってしまふ為、施設全体で共有され、法人・事業所単位でのチームアプローチが重要となるというものです。

この考え方のように施設全体でご利用者の意思決定に沿った支援を行っていきたいと思います。

令和元年度 職員研修報告 5

「太田ステージ研修を受講して」

生活支援員 深田貴行

研修内容は専門的で、各講師の経験や研究を基にした内容で根拠があり、太田ステージに関してだけではなく、医療の面からASDに関する研究や薬物療法の講義も聞くことができ、内容も興味深く、知見も広がり、医療等の他職種との連携の重要性に関しても再認識することができました。

今後、太田ステージを支援のヒントにし、TEACCHやABA等の支援手法と絡ませながら導入し、個別支援計画に落とし込み、支援に繋げていきたいですが、まずは職員間で共通理解が持てるようにスモールステップで取り組んでいきたいと思います。

今回の研修を意味のあるもの、支援の基本にしていくため、ご利用者にも支援者にとってもより良い施設になるように気長に日々の仕事に取り組んでいきたいと思います。



第44回 玉柏会 納涼大会

R1.7.20(土)



大迫力の手筒花火

『皆様のご協力に感謝!!!』

穴原荘の伝統ある納涼大会、恐れ多くも令和最初の年のリーダーを仰せつかりました。最初は何からやればいいのか全くわからず、歴代の資料とのにらめっこから始まりました。

今年も、ご利用者の笑顔溢れる納涼大会に出来たことを誇りに思います。上司の皆さまと先輩方の助け、実行委員の協力、現場を回してくださった全ての職員の皆さまと、ご利用者で作り上げた納涼大会でした。本当にありがとうございました。
(納涼祭担当: 支援員 長谷川 未紗)

『今年も大成功! ありがとうございました』

穴原荘に入社し、初めて納涼大会の担当を任せて頂きました。前年度の納涼大会の資料を見返しながら業務を進めていましたが、ご利用者の方々や来場者が楽しんで頂けるように様々な企画や配慮があり担当をして分かったことがありました。また、今年の納涼大会は雨天の可能性があり、例年とは違うレイアウトで行いました。急きょ、テントの配置や屋内にブルーシートを敷く等、雨天対応となりましたが、他の納涼大会の担当職員や他の職員に協力して頂き無事に本番を迎えることができました。

(納涼祭担当: 支援員 安部 貴裕)



楽しみにしていた納涼祭! 笑顔がはじけます

「祭りだ、MATSURIだ、まつりだっ!!」R1.8月~10月



8/4 清水みなと祭り



10/27 小島まつり

夏から秋にかけて、お祭りのシーズンです。今年も穴原荘、みすず、かしわ寮で多数のお祭りに参加しました。

- ・清水みなと祭り
- ・福祉のまつり
- ・福祉キャンパスまつり
- ・福祉楽市
- ・穴原 村祭り
- ・小島まつり

自主製品、今川焼やかき氷などの販売に、たくさんの皆様のご協力をいただき、どうもありがとうございました。



10/16-17 松坂屋 福祉楽市



9/28 福祉キャンパスまつり

みすず

自慢の利用者



みすずのご利用者の中から、今回は女性のご利用者を紹介させていただきます。女性のご利用者が少ない中でも、男性陣に負けず頑張っているのは高木里沙子さんです。高木さんは、事業所内の作業はもちろんのこと、工場に出向いて行う作業にも参加されています。その活躍は生産活動だけに留まらず、今まで数多くのイベントに販売員として参加していただきました。これからもみすずの看板娘として、仕事、イベント等に楽しんで参加してほしいです。

(職業指導員 山本智史)



笑顔が素敵な 高木様

新たな食形態、「固まり刻み食」が増えました

7月13日に行われた第11回静岡県小児摂食、嚥下勉強会で穴原荘のこれまでの摂食、嚥下の取り組みを発表する機会を頂きました。

主催者でもある、「つばさ静岡」の浅野医師より、積極的な取り組みに対するお褒めの言葉や、さらなる改善の助言を頂き、それを参考に今まで3種類あった刻み食をより食べやすい形態の「固まり刻み食」に統一しました。

「固まり刻み食」は、一度常食に仕上げたものを刻み、そこに直接トロミ剤で固め口腔内でかみ砕いた状態に近づけており、味付けも常食と同じ味に仕上げています。作る上では手間がかかりますが、給食委託業者の「株式会社 ウエルビー フードシステム様」も、快く協力して頂きとても感謝しています。

現在は高齢化に伴い、現在20名以上のご利用者様が「固まり刻み食」を食べていらっしゃいますが、ご利用者からも「おいしい」「食べやすい」などの声も聞かれ職員のモチベーションの向上にも繋がっています。

また、フロアでは食事前に歌をうたったり、パタカラ体操などを取り入れて唾液の分泌を促し誤嚥の防止に努めたり、食事介助の工夫や食事時間の使い方など職員一人一人が接触、嚥下の活動に取り組んでいる姿が多く見られるようになりました。

食事時の利用者様の笑顔が私達職員の何よりの励みとなっています。

今後も職員の知識の向上とともに、ご利用者の食事環境がより良くなるよう努力して行きます。

(看護師 山本和子)

『固まり刻み食』を紹介します



カレーライス



とんこつラーメン



山菜うどん

ご利用者の大好きな、カレーライスやラーメン、うどんも、このとおり!



お食事の様子



「固まり刻み食」は、なんと言っても味や見た目が常食に近いことが、すばらしいと思います。

見た目を楽しみ、食べておいしい。そんな食事をご利用者の皆様ができたら、より一層、食事の時間が楽しくなるのではないのでしょうか。

1日3食、みんなで美味しく、楽しく、いただきたいですね。

玉柏会事業所だより

央原荘

七夕まつり 受賞 おめでとう! R1.7.6

女性Bグループで出品した七夕飾りが、「ライオンズクラブ会長賞」という賞を頂きました。

この賞は80作品の中の第3位ということで、とても名誉のある賞です。

授賞式には、荘を代表して2名のご利用者様に参加して頂きました。

当日はたくさんの方がいらしており、少し緊張している様子でしたが、壇上上がり賞状と賞金を頂きました。また、インタビューにも上手に答えることが出来ました。

来年も更に良い作品が作れるように頑張ります。



ライオンズクラブ会長賞、受賞!!



三世代グランドゴルフ大会 R1.9.8

小島中学校で開催された「グランドゴルフ大会」へご利用者と職員で参加させて頂きました。台風の接近が心配されましたが、お天気も良くすがすがしい秋の風の中、プレイすることが出来ました。大会関係者の方が加わってくださり、ラウンドしましたが、その中で1位はご利用者でした！おめでとうございます！

地元の皆様とも楽しく交流ができ、充実した1日を過ごせました。来年も、がんばるぞーっ！おーっ!!!



ナイスショット

ようこそ！ジョンレンバンド R1.9.14

央原荘訓練棟2階にて、懐かしの曲を中心に、10曲ほどご利用者の目の前で生演奏して頂きました。ご利用者様も、アップテンポなりのいい曲では立ち上がり、歌ったり踊ったりと曲に合わせ、楽しそうに体を動かしました。

スローテンポのバラードな曲では、静かに口ずさむ方や涙を流す方など心に染みて感動しているようでした。今年も素敵な時間を、どうもありがとうございました。



♪ 歌って、踊って ♪

パレットの会 R1.9.29

恒例になりました、パレットの会のみな様とご利用者で、央原荘周辺の草取りを行いました。

気温もだいぶ涼しく、活動しやすい環境でした。草刈りの後、ボランティアの方から頂いたお饅頭を食べて、皆さん喜んでいました。

今回も、とてもきれいになりました。ありがとうございました。



取ったどー!!!

みすず事業所（就労継続支援B型事業所）



<10月25・26日 ～1泊旅行～>

みすず旅行は、今まで6月に行っていましたが、今年は初の試みで10月に行きました。企画にあたり、どんな旅行にしたいか？ご利用者にはどのように楽しんで頂こうかと、いつもは東？西？と行き先を考えますが、今回は北（長野県）にしてみました。美術館や蕎麦打ち体験、リンゴ狩り、紅葉、「〇〇の秋！」にふさわしい旅行となりました。勿論、みすずならではの工場見学も含んだ旅行としての、白州シャトレーゼ工場・・・見学より試食がメインになってしまったかもしれませんが・・・けれど、日頃の作業を忘れ、おもいっきり楽しんで頂きました。

（みすず管理者 鈴木利往）



そば打ち体験

みすずちゃんのひとり言



最近の吾輩は、活躍が薄いような・・・、しかしながら「みすずの活動」は活発のようだ！特に季節の活動は、作業活動と違ってどうやら賑やかさが目立っている！「春・夏・秋・冬」独特の活動で忘れがちな季節感を味わえる！次の「季節の活動」もこっそり覗きたいと思っているが・・・いやいや吾輩も参加したい！（すず）

第二かしわ寮 ～バランスの良い朝食を食べて元気に一日をスタートしよう～

ご利用者の皆さんが笑顔で元気に一日をスタートできるように、野菜中心でバランスの良い朝食提供を心掛けています。朝食は、タンパク質をメインにした主菜と、野菜が沢山入った温かい汁もの、海藻・野菜等の副菜等を提供しています。

健康のため工夫している点は、何よりも旬の物を素材に使用することはもちろんですが、減塩のため醤油の代わりにレモン（柑橘類）を使用したり、生姜等の香味野菜を使用して香りや味が豊かになるように調整し、例えばハンバーグの仕込みでは素材の美味しさを損なわないようにお豆腐や高野豆腐を鶏肉と合わせるなど工夫することで「高たんぱく低カロリー」に仕上げるよう心掛けております。



ご利用者の皆さんは元気に朝早く起床し朝食を食べてから、分担された掃除場所を各自行った後、仕事に出掛けます。共有スペースの分担のお掃除は、それぞれの特性を活かして行います。皆さん一人ひとり個性は違いますが、お互いに助け合い支え合い共同生活をしている中で、自分が好きなことやできることに自信を持って笑顔で一日をスタートしている姿を見ると心が温かくなり、私自身がご利用者から教えられたり励まされる毎日です。

かしわ寮の生活が穏やかに笑顔でスタートできるように、これからも日々、努力していきたいと思います。

（第二かしわ寮 世話人 川津明子）



北海道 (道央) ~2泊3日旅行日記

(さあ、出発だっ!!!)

男性かしわ寮3名の毎年恒例の旅行。今年も、待望の『北海道旅行』が実現しました!!

しかし、付添職員が穴原屈指の雨男...さて、どうなることやら...??

*** (1日目) ***

静岡富士山空港より札幌丘珠空港へ到着、当然の如く雨模様でしたが、すすきのラーメン横丁で腹ごしらえ、皆様普段なかなか食べることが出来ない本場の札幌ラーメンに舌鼓。ご満足して頂けたようです。次は、アナと雪の女王もこれにはびっくり!!!マイナス41度の世界が体験できる世界で唯一の設備を持ったアイスバビリオン。入った瞬間マイナス21度。寒いというか痛い...。持っていた濡れタオルも凍って棒状になってしまいました。その後は銀河・流星の滝をみて雄大な自然に感動。夜はホテルで夕食の蟹の食べ放題で皆様満喫されました。

*** (2日目) ***

さあ、いよいよ皆さんが楽しみにしていた、「旭山動物園」へ出発。動物をすぐ近くで見ることが出来るような仕組み、餌やりの様子を公開しながら動物の説明をするなど、人気の秘密が随所にみられ、皆様も釘付けでした。

*** (3日目) ***

最終日の朝食では、イクラやお刺身好きなだけに乗せて食べる”なまら飯に”びっくり。一気にテンションが上がります。その後は、富良野ロープウェイで一気に雲上へ...頂上に着くと上には青空、下には雲海と素晴らしい景色がまっていました。昼食は、北海道で回転ずしの有名店”トリトン”で頂きました。

ド迫力のネタにみなびっくりとても美味しかったです。そして静岡へ。

今年の旅行も、たくさんの笑顔と、楽しい思い出が増えました。

(かしわ寮 サービス管理責任者 松永文秀)



ペンギン館・水中トンネル!



本場のサッポロラーメンですな



青空と雲海とわたし。

11月10日	かしわ	1月25日	みすず	12月12日	愛護ギャラリー	12月12日	愛護ギャラリー	11月17日	央原	12月1日	法人	1月までの予定
12月8日		みすず開所記念式典		12月16日		愛護ギャラリー		12月16日		愛護ギャラリー		
1月12日		青空市 (みすず事業所)		(グランシップ)		(グランシップ)						
青年学級												

ご相談は、下記の電話へどうぞ!

電話 054-369-5688

FAX 054-340-3566

E-Mail endo@tamagashikai.com

お悩み・相談なんでも

入所 ご利用者

《央原荘・入所》

10月 富田さん

【この記事に関するご意見やお問い合わせは】

電話: 054-394-0311

FAX: 054-394-0312

E-mail: sisiharaso@po4.across.or.jp

QRコード

玉柏会では皆様のお声をお待ちしております。

すずらん

